

# 後期学校アンケート結果 No.1

令和7年 3月5日 発行

京都市立川岡東小学校  
校長 岡本 雅文  
TEL 392-8820 FAX 392-8827

## 学校評価の結果より

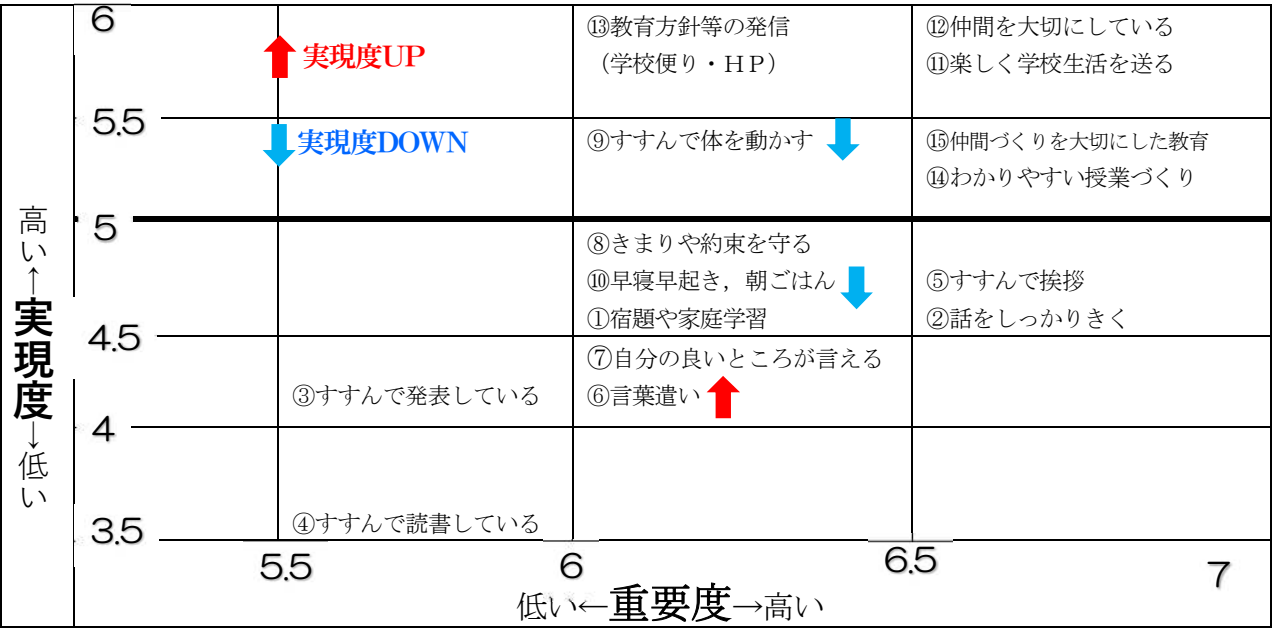


～ご協力ありがとうございました～



保護者の皆様には、1月に「本校の教育にご協力を」という形で、本年度2回目の学校アンケートを実施いたしました。399名ご回答をいただきました、ありがとうございました。その結果をお知らせいたします。

### 保護者評価の実現度と重要度の分布（1回目との比較）



### 表の見方について

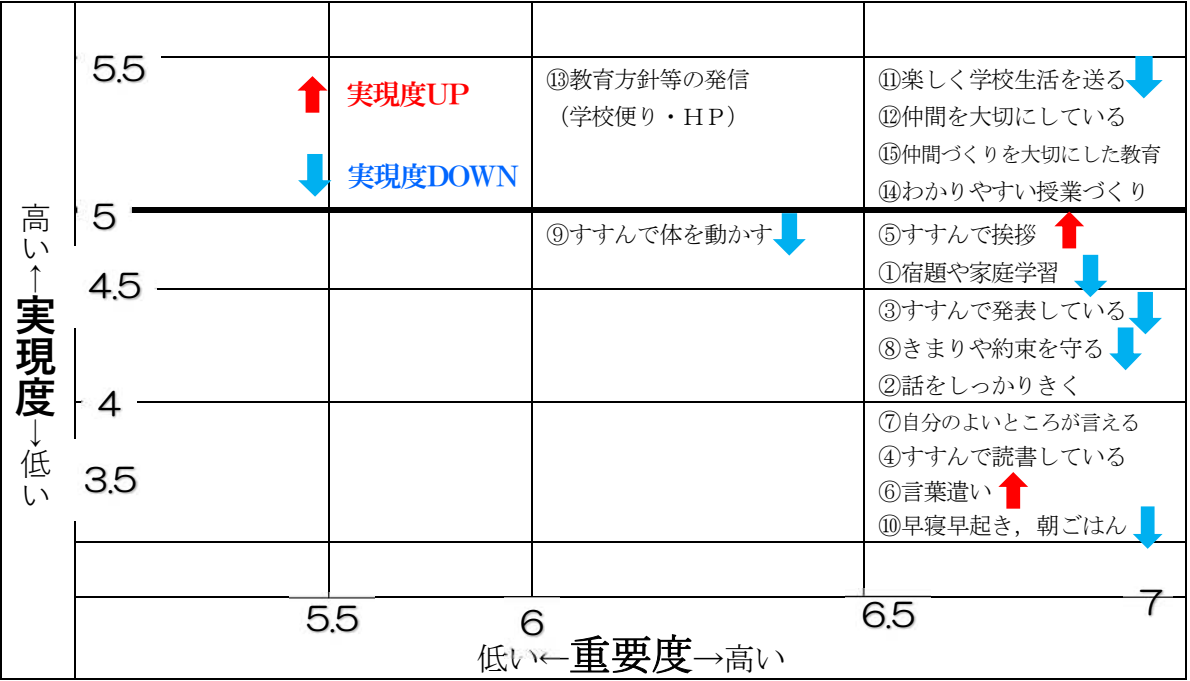
重要度…7点満点で数字が高ければ重要であると考えられるもの。

実現度…7点満点で数字が高ければできていると評価できるもの。

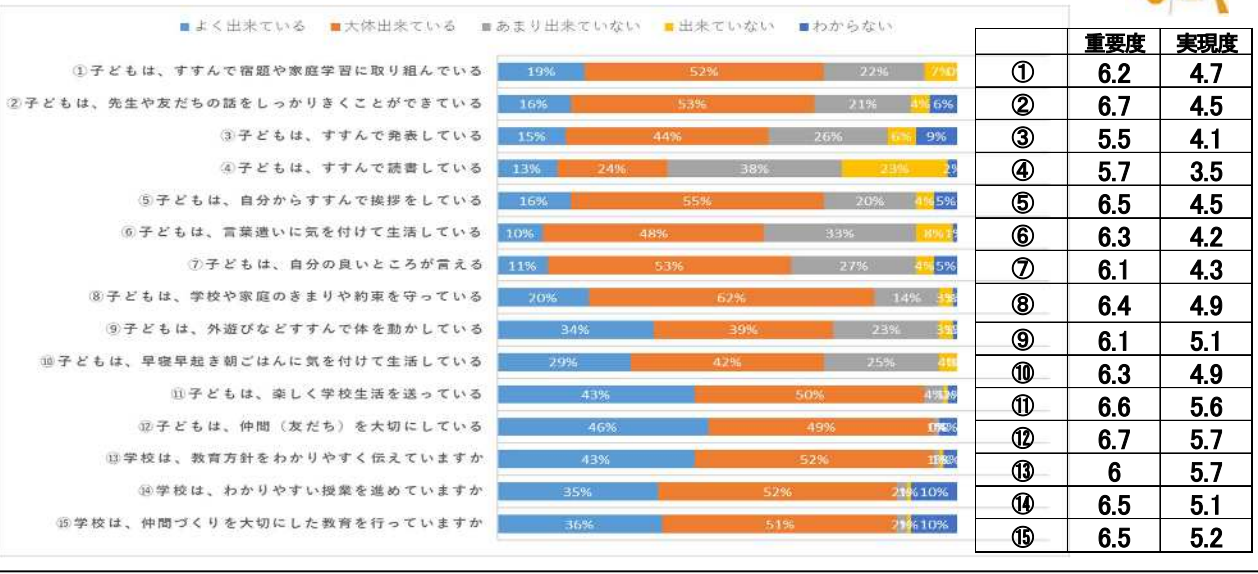
5点を超えているとおおむねできていると判断してよいと考えています。

今回は、1回目と比較すると、全体的に評価が下がっています。アンケートの期間が冬の時期の影響があったのか、気象状況に左右されやすい内容項目の実現度が下がっています。以下の表では、0.2ポイント以上の差がある項目において、↑で示していますので、傾向がわかるかと思います。保護者の評価よりも教職員の評価の方が全体的に下がった傾向がありました。ただ、保護者も教職員もどちらも言葉遣いにかかわって、実現度が高まる等認識があり、一定の成果が出てきているのかと思います。

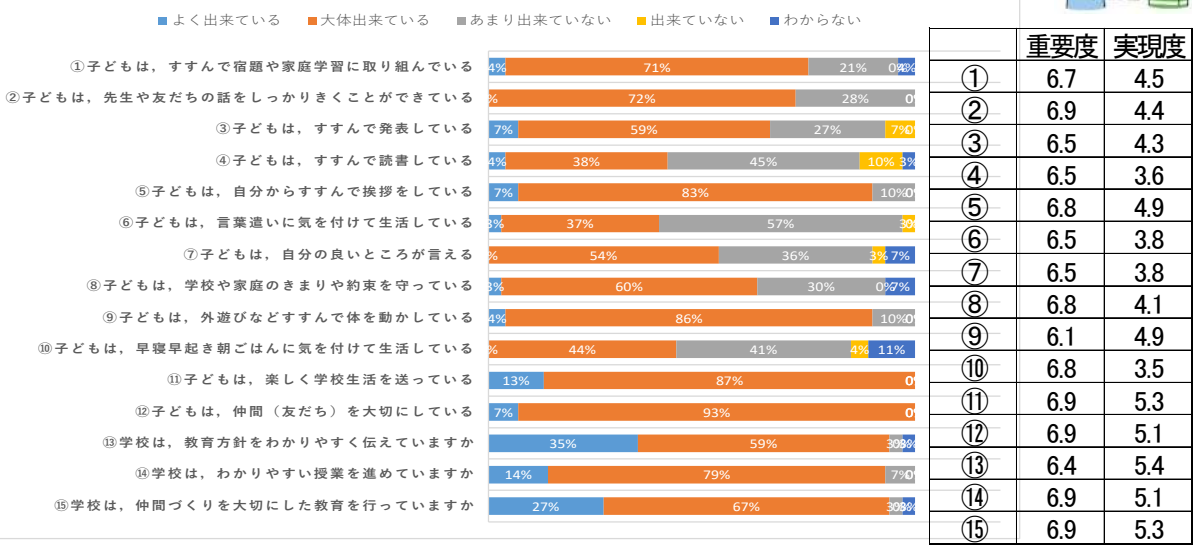
### 教職員評価の実現度と重要度の分布（1回目との比較）



### 保護者評価 実現度



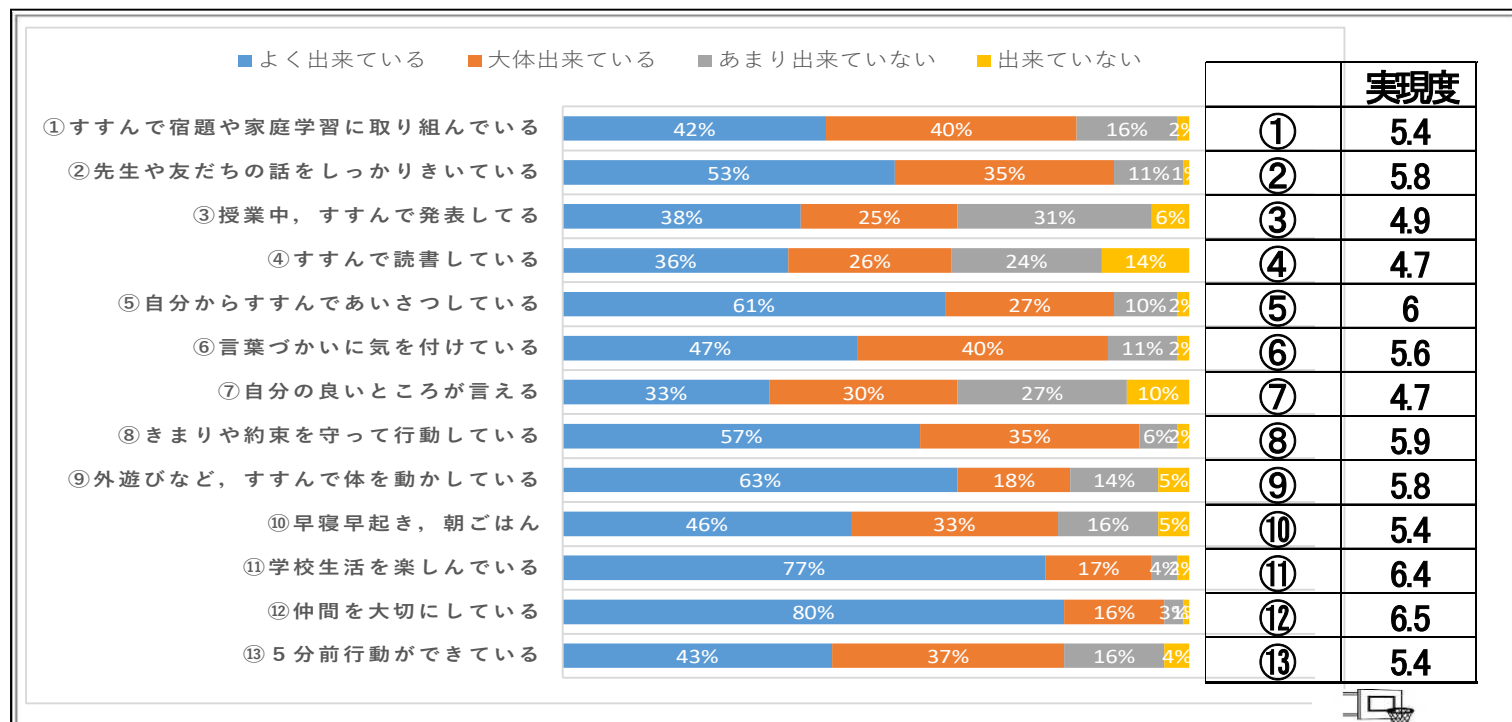
### 教職員評価 実現度



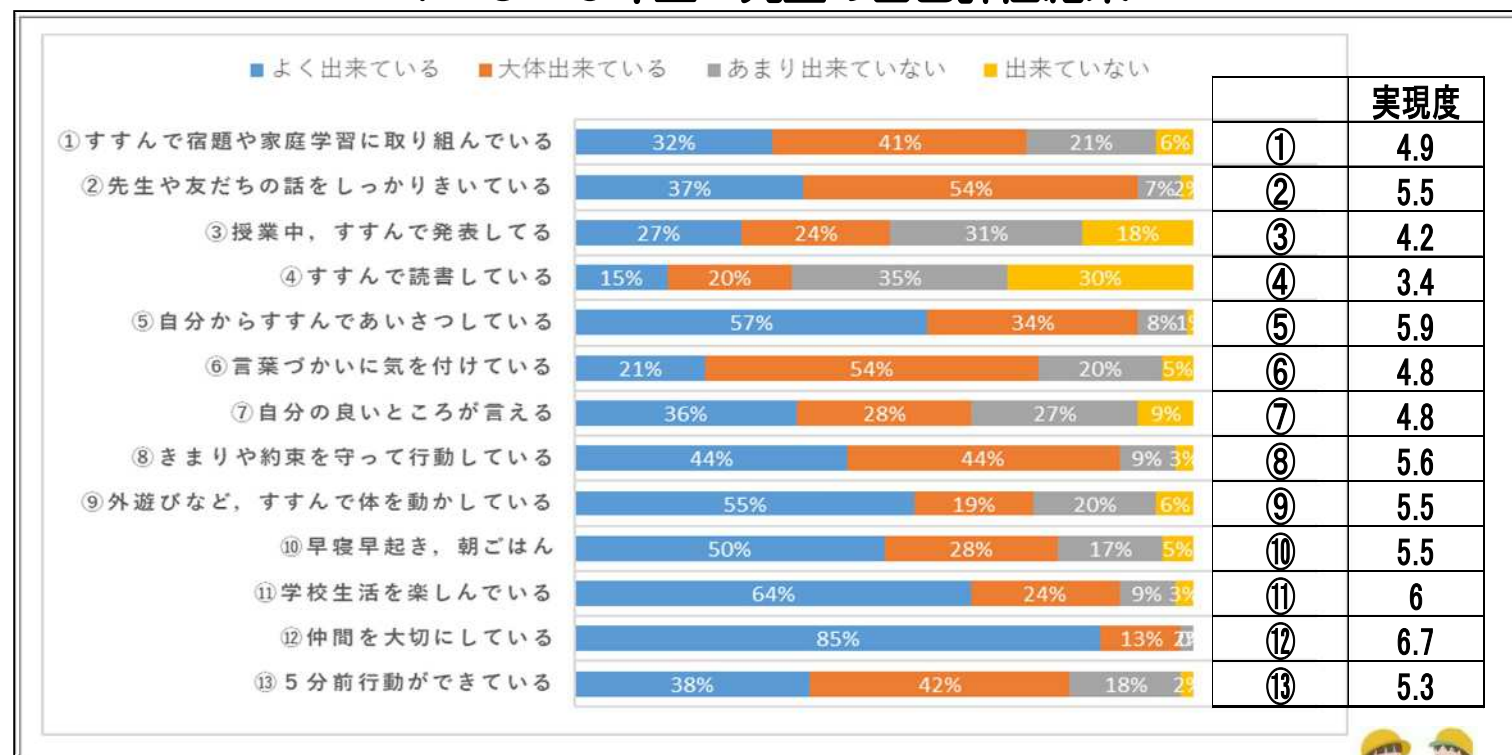
## 裏面

## 児童の実現度結果

## 1・2・3年生 児童の自己評価結果



## 4・5・6年生 児童の自己評価結果



## ～保護者・教職員アンケート（表面）の結果より～

- ・教職員の実現度と保護者の実現度は似通ってきています。子どもの様子としてよさや課題が共通理解しやすい状況となっていると思います。そのこと、同じ方向性で子どもを育てていくことができ、共に連携しながら進めることができるので、うれしいところです。
- ・その中、⑧「子どもは学校や家庭のきまりや約束を守っている」⑩「子どもは楽しく学校生活を送れている」に大きな違いがありました。どちらも保護者の方が実現度は高いので、教職員の見取りが厳しいのか、教職員自身が、自らを振り返る中で自らへの課題としているのかもしれませんが。
- ・どちらも課題としてるのは、④「子どもはすすんで読書している」⑥「子どもは言葉遣いに気を付けている」⑦「子どもは自分のよいところと言える」でした。今までもずっと課題となっているものですが、少しずつ上昇傾向はみられます。一気に変わることが難しいかと思うのですが、地道に関わっていくことで確実に変化となるかと思えます。
- ・生活アンケート結果とともに考えると、冬となり、寒さや日照時間の短さなどが影響していると思われ結果となっています。その中でも、そんなに大きく崩れることなく維持できているところはうれしいところですが、登校時刻が遅くなったり、遅刻が増えたりするのもアンケートをした時期です。安定して生活リズムが維持できるよう家庭でのサポートをよろしくお願いします。

## ～児童アンケート（裏面）の結果より～

- ・児童の実現度が、多くの項目で下がりました。中でも、低学年・高学年とも④「すすんで読書している」⑥「言葉遣いに気を付けている」⑬「5分前行動ができています」は0.4ポイント以上下がるという結果でした。また、高学年の方が実現度が下がるという傾向がありました。例年、低学年が下がる傾向の方が強いのですが、低学年の下がり方以上に高学年の実現度の低下傾向が強いことが気にかかるところです。
- ・言葉遣いに関わっては、保護者も教職員も実現度が高まっている傾向でしたが、子どもたちは、そう判断していなので、ますますよりよく変わっていくのではないかと期待します。それだけ、子どもたちも意識していることなのかと考えられ、うれしい傾向ではあります。
- ・すすんで宿題や家庭学習に取り組んでいるという内容での実現度が低下しています。低学年では0.4ポイント、高学年では、実現度5を下回ってしまいました。やらされて学習している傾向が強いことはわかります。これからの生きぬく力として、主体的に学びに迎えるようにするのか、しっかりと分析し、取り組みを考えていかなければなりません。大きな課題として、意識しておきたいと思えます。
- ・⑦「自分の良いところと言える」の高学年の実現度が0.4ポイントも下がりました。もともとそんなに高くはないのですが、自分に自信が持てない児童が増えているのかもしれませんが。将来、意欲的に様々なことに挑戦できるように、子どもの自尊感情をしっかりと高められるように大人の私たちが意識して関わるのが大切だと感じます。
- ・現状維持や少し実現度が高まった項目は、低学年・高学年とも⑪「学校生活を楽しんでいる」⑫「仲間を大切にしている」でした。もともと非常に高い実現度でしたので、これ以上はなかなか高まりにくいとは思いますが、現状維持できていることはうれしいところです。





## 保護者の方からのご意見

京都市立川岡東小学校  
校長 岡本 雅文  
TEL 392-8820 FAX 392-8827

〇たくさんご意見いただきました。ありがとうございます。同じような意見や個別に対応するものについてなどは、ある程度まとめています。ご了承ください。

◎自由記述であるにも関わらず、たくさんの感謝の声をいただきました。ありがとうございます。学校として、たいへん励みになります。しかし、ご心配される内容、中にはご批判もいただきました。教職員でしっかりと受け止め共有し、今後の教育活動、次年度への取組の参考とさせていただきます。

## ■学校生活・学習活動等について

〇いつもありがとうございます。朝の時間もボール遊びができるようになったとよろこんで、朝早く家を出るようになりました。毎日楽しそうに学校に通ってくれて嬉しそうです。

〇担当の先生が子どもの事、クラス全体のことをよく見てくれているので、とても安心して通わせられています。子どもは学校が好きで長期休みに入ると学校に行きたいと言います。それだけ学校生活が楽しいようです。学校を楽しい場所にしてくださり、ありがとうございます。

〇子ども一人一人に対し、できている事、できていない事を伝えてくださり、サポートもしていただいて感謝しています。おかげさまで本人も変わってきています。不安そうな様子もなく、学校であったことをよく話してくれます。

〇学年が上がるにつれ、勉強も難しくつまずくようになりました。宿題でも何度も繰り返してもらっていることはありがたいです。先生の授業もとても分かりやすいと言っていて、親としては嬉しく思います。

〇いつも勉強以外の雑談にも付き合ってください、ありがとうございます。系の活動でいろいろと友達同士で考えを出し合っている様子を聞き、学校生活を楽しめているようでほっとしています。

〇先日、総合の授業での取り組みについて、家で楽しそうに話してくれました。チームで課題に取り組むおもしろさを感じたようです。これからも学校で学ぶことの良さを感じられる授業を展開していただけるとありがたいです。

〇楽しい学級を作ってください、子どもと遊んでいただき、ありがとうございます。学級よりも毎週楽しく見えています。学級だよりの子ども達の写真もとても良い表情をしていて、こちらも元気をもらいます。

〇やる気のなかった子どものやる気を少しずつ上手に引き出してください、とても感謝しています。「言っても聞かないから…」とあきらめに近い気持ちでいましたが、2学期懇談で「〇〇さん、頑張っています。ほめて伸ばしましょう」と言ってください、子どもの悪いところばかりではなく、良いところにも目を向けようと思えました。

〇給食も毎日のように増やし、おかわりをしてたくさん食べさせてもらいました。給食室の方々にも感謝の気持ちでいっぱいです。

・前年の学年より授業が難しくなったと感じているようです。放課後、居残り補習みたいなものが以前あったと思うのですが、我が子は「ない…」と答えています。明らかに1年前より成績が下がったので居残り勉強があったらいいなと思いました。

・2学期にあった校外学習ですが、酷暑と近年言われるような暑さが続く日もあります。その中で以前と同じ季節、同じ場所に校外学習に行くことを考え直す時期にきているのではないのでしょうか。西京区の他の学校の1年でも室内施設に学習に行ったり、屋外へ行く場合は春に行くようになったりと聞いています。

・仕事の都合でなかなか参観・懇談会には行けませんが、子どもの様子が知れて良いと思っています。土

曜 参観を復活していただきたいと思います。漢字検定を学校の再開してほしいです。学校の宿題・課題以外にも取り組むきっかけを作っていただけたら嬉しいです。(6年前くらいはやっていただいていたので)

・やらないといけない事(宿題や授業の参加等)に対して、本人のやる気がなく、何度言ってもやらない事が多くあるのですが、しかたがないので放置する形になってしまうのは分かりますが、あまりにも続くので全く授業についていけなくなってきており、この1年、何を学んだのか…無駄にしまったようで残念です。

・音楽の授業は、リコーダーテストがとても厳しいようで、家に帰ってからとても練習したり、気にしたりしていました。リコーダーも大切ですが、他の科目にも集中できるよう、もう少し負担が少なくしてもいいかと思いました。

・環境がずいぶん変わってきています。異常気象といわれることが増えていました。そのことも踏まえて行事予定等考えていますが、学習の流れや貸切バスなどの交通状況など様々な要因を含めて計画をしていなければなりません。ご指摘いただいていることなど校内でも課題としつつ考えています。学校や学年の都合だけでは決められないことがあることはお知りおきください。その中で少しでもよりよい環境で取り組めるよう努めていきます。

・指導内容や指導の仕方など、ご指摘いただいたことはしっかりと共有し、見直していきます。ただ、受け止め方も様々で、同じことをしていても、喜んでいただける方もあれば、負担だ苦痛だと、マイナスの思いを抱かれることもありますね。どちらも大切な声として受け止めて工夫していきます。

## ■あいさつ・言葉遣いについて

〇旗当番や見守り隊の時に低学年から高学年の子まで、すすんで挨拶をしてくれることが多く感じました。

〇学校の雰囲気明るく、先生方も気持ちの良い挨拶をしてくださる。子ども達も進んで挨拶をする子もそうでない子もいるが、目が合えば頭を下げたり、その子なりに反応してくれたりしているので、嫌気持ちになることはありません。我が子も毎日楽しく登校しています。

〇朝の旗当番の時、目が合うとかわいくあいさつをしてくれたり、丁寧にあいさつをしてくれたり、元気にあいさつをしてくれたり、とてもうれしいです。

・子ども達が学校生活にも慣れ、個性がだいが表面に出せるようになったと思います。慣れるのは大変良いことなのですが、ルールが守れなくなっていたり、言葉が乱暴になっていたりするようです。言葉づかいに関しては、家庭環境も大きく影響するところだと思います。何気なく親しいと思って、冗談で投げかけた言葉でも、言葉を受けた相手は傷ついているかもということを皆で共通して意識できればいいなと思います。

・言葉づかいが気になっています。「あおった」という言葉をよく言います。「友達があおってきた」「あおられた」と兄弟姉妹に対しても「あおんな」と、一日に何回もその言葉を言います。家で注意はしていますが、学校の友達同士でも頻繁に言い合っているようではなかなか直りません。良い意味で使われることのない言葉ですので、学校でも注意してほしいと思います。よろしくお願いします。

・あいさつのよい評価をいただいたことは大変うれしく思います。児童会を中心に、教職員も意識して、学校全体で取り組んでいることが成果として表れていることかと思っています。引き続きみんなで取り組んでいきたいと思っています。

・言葉づかいについて、お声をいただくことが多い内容です。教職員も日々の学校生活の中で、特に意識をしながら指導しています。少しずつやわらかな言葉が増えてきたようには思うのですが、まだまだのようです。子どもが生活をする言語環境として、学校も地域も家庭もすべてで振り返りながら、どんな言葉を子どもに投げかけているか、聞かせているかということも一緒に考えていくことが必要ではないかと考えます。学校運営協議会でも話題として地域の方々にも共有いただいています。

## 保護者の方からのご意見

京都市立川岡東小学校  
校長 岡本 雅文  
TEL 392-8820 FAX 392-8827

## ■学校・学年・学級のルールについて

- ・教科書たくさんあって毎日かなり重い荷物を背負って登下校するのは、かわいそうすぎるので、毎日使う国語や算数の教科書は、教室に置いていけるようにしてあげてほしいです。タブレットや水筒や体操服等もあるので、何かあった時に走って逃げたりできなくなります。重すぎて少しの段差でもこけてしまう可能性があり、危険ですし、子ども達の安全も考えて、置かせてあげてください。よろしくお願いします。
- ・体温調整のために着る上着で、教室では脱がなくてはいけない服が先生によって少しだけ変わる気があるので、素材や形等、学校全体のお手紙で指定していただけると助かります。
- ・学年が上がり、行動範囲も広がってきました。校区外に出たがるようになり、友達の中で一人だけ行かないのかわいそうで、短時間で帰ってくることを条件に許可しています。まだ許可を求めてくれるだけ良いのかなと思ってはいますが、今後親の目の届かない所でこういうことが増えてくるのではと心配です。学校の方でも今一度、遊び方、遊ぶ時間帯、遊ぶ場所について話をしてもらえるとありがたいです。
- ・学校で使用する雑巾ですが、ゴムではなく、洗濯バサミではだめでしょうか？
- ・毎回、学校アンケートで意見がでていると思いますが、髪を染めている子が多すぎます。特に女の子に派手な色の子が目立ちます。学校側はこの状態を容認しているのでしょうか。子ども達はまだ小学生ですから、これは子どもの意思というよりも親の満足のためさせているように思えます。学業を優先するべきですが、子どもたちが将来、社会に出て困らないよう、学校のルールとして身だしなみをきちんと整えるということを保護者に徹底して指導するよう望みます。

- ・荷物については、昨今、教科書が大きくなったり厚くなったり、よりよい学習を進めていくことで変化してきています。各学年、主要教科以外は教室においておくなど工夫はしているのですが、まだまだ心配の声があるということを共通理解して進めていきます。
- ・以前に比べると染髪児童も減ってきているように思います。学校としては染髪を認めているわけはありません。染髪に対して焦点が当たりますが、身だしなみとして、様々な点で小学生にふさわしいのか、という点はあるかと思えます。いろいろな影響を受けるのが子どもです。その影響に対してどう関わっていくのが大人である学校や家庭との共通認識かと思えます。まずは、学校は学習環境を整えること、その環境を乱すことがないよう力を注いでいます。必要以上の身だしなみについて、小学生らしさについて、一緒に考えていければと思います。
- ・子どもの行動範囲など放課後や休みの過ごし方については、学校では把握のできないことです。情報に応じて、学校で指導をしたり、その時々全体でも注意喚起したりしていますが、保護者間の連携や地域連携の中でも見守りをさせていただければありがたいです。

## ■情報提供やアンケートについて

- 連絡帳に相談したいことを記載するとすぐに対応していただき、子どもも親も安心しております。学校のホームページにも写真をたくさん載せていただき、様子が分かって嬉しく拝見しています。
- 学校のホームページに、その日の学校での様子を写真と一緒にたくさん載せてくださっているのも、いつも楽しみに拝見させていただいています。子どもとの会話にもつながるので、とてもありがたいです。
- 学校のホームページを見たことがなく、教育方針を気にしたことがありません。子どもが楽しく友達と過ごせていればそれだけで充分です。いつもありがとうございます。
- ・一週間の予定表について、予定や持ち物確認するのに子どもはいちいちランドセルからファイルを取り出し、親もスマホを見て画像を探さねばならず、以前に比べてチェックがしづらくなりました。資源削減も分か

るのですが、せめて低学年の間だけでも(希望者だけではなく)全員に配付してもらえたらいいなと思っています。

- ・教育活動の様子について、運動会や発表会、校外学習などの時、写真販売があればなあと思ったりします。
- ・小学生の子どもが多いと、このアンケートも枚数が増え、大変なので、すぐーなどのインターネットで回答ができると時間をかけて考えたりできるので嬉しいなあと思いました。週間予定がすぐーる配信になったので、確認したい時に見ることができてありがたいです。
- ・表面の教育活動の様子について。「2. 学校はわかりやすい授業を〜」「3. 学校は、仲間づくりを大切にしたい〜」についての実現できていると思うか」は、判断材料がないのでいつも困る。結局は子どもに聞いて答えるしかないのだが。学校が子ども達にとって公平で安全な場であってほしい。男女、学年、成績の優劣関係なく同じように接し、公平に厳しくも温かい教育指導をしてもらいたい。

- ・ホームページなど情報発信にかかわる評価をいただき、ありがとうございます。各学年、学校の様子を少しでも知っていただけるように、こまめにアップしていますので、少しでも多くの方に、見ていただけると嬉しいです。
- ・今年度より、すぐーによる配信を積極的におこなっています。便利になったとか、いつでも確認できてありがたいとか、肯定的なご意見とともに、やはり、紙でいただけたらなど様々な意見をいただきます。データ配信でありますので、各ご家庭で上手く活用いただけるとありがたいところですが、必要に応じて、個別にご相談いただければと思います。
- ・次年度以降、紙面でのアンケートはデータでのアンケート調査に移行していきます。データでのアンケートの方が処理にかかる負担は減るので、ありがたいのですが、いろいろな調査結果を確認すると、データでのアンケート調査は回収率がよくないという情報があります。回収率が減ると正しく全体の様子を把握することができなくなります。その点を懸念しています。
- ・学校の様子がわからないとか、見ていないので判断できないなどの意見を毎回いただきます。わが子を通した様子として考えていただければありがたいところです。お子さまの様子から考えていただくように、子ども一人ずつにご意見をいただくようにしています。お子様の多いところは大変なところはあるかと思いますが、意図や趣旨をご理解いただき、ご協力をよろしくお願いします。

## ■その他

- 親の目からするともう少し自分から動いてほしいなあと感じるのですが、子どもなりの成長速度があるので、見守るしかない部分も大きいと思いながら子育てをしています。一つ感心しているのは、運動は得意ではないのに体を動かすことを嫌がらず、習い事や放課後の遊びに積極的なところ。悪いところを見守り、直し、良いところをほめ、伸ばしていけるよう、親も努力したいと思えます。
- ・冬休みの宿題のことで少し…。2 週間と短いので、少し宿題の量が多いかな?!と感じてしまいました。(計算カードやなわとびなど)
- ・変わらず、大谷選手からのグローブの使い道は気になる。
- ・夏の季節の授業参観に行ったとき、教室の暑さに驚きました。子どもから教室の空調が効いていなくて暑いとは聞いていましたが、本当に暑く、参観に行っている親が熱中症になりそうな温度でした。たまたま1 年の教室に入るタイミング(人が多く、少し避けるために入った)で、その教室はそこまで暑くはなかった。空調が壊れていたのかもしれませんが、どの生徒も快適な環境で授業が受けられるようにしてほしいです。熱中症や体調を壊すような感じでしたので思わず、生徒はもちろん先生も倒れてしまうのでは?と心配になる感じでした。
- ・先日、京都市学校保健会西京支部の研修会に参加する機会があり、電子スクリーンが子ども達の脳に与える悪影響について学びました。その中で、特にスマホは持つ時期をできる限り遅らせるのが子ども達の脳を守るために大切で、それを多くの保護者が認識し、対応することが必要だと教えられました。もちろん、それぞれの家庭の裁量だとは思いますが、学校から研修会の内容を保護者や児童に伝えてもらい、皆さんが判断の材料にできるようにしていただけたら大変ありがたいです。

## 保護者の方からのご意見

京都市立川岡東小学校  
校 長 岡本 雅文  
TEL 392-8820 FAX 392-8827

- ・スマホ・動画等への依存について心配しています。スマホの使い方など、各家庭の約束事や決まりがそれぞれだと思うので、グループラインから友達を退会させたり、死ね、消えろと言ったり、遊び半分で(冗談で)何回もしているのを見ると、そういうことに左右されないように、また同じようにしたらいけないことを、私は子どもに伝えています。学校での指導も届いていないように感じるので、これから怖いなど思っています。
- ・うさぎの水飲み用の器が汚れているのが気になります。しっかり洗い、掃除するよう、子ども達に言ってください。動物は自分できれいにすることはできませんから。
- ・牛ヶ瀬交差点の朝の旗持ちが予告なく急になくなり、今でもとても不安です。その場所の代わりに立つようになった旗持ちをしている場所は、近所の方からの苦情があったからと聞きますが、生徒の危険を考えて、旗持ちの場所を再度考えてほしいです。時間がある時は子どもの見送りを牛ヶ瀬交差点まで行きますが、危険な場面をたくさん目にします。切実な問題だと思います。どうか一度視察してほしいです。あの交差点に大人の目がないことが本当に怖いです。毎日心配をしています。
- ・低学年の道路上の遊びが目立つ(危ないと感じる)。
- ・運動会で6年生だけでもいいので、リレーを復活させてほしいです。
- ・昨年の運動会で一点だけ気になったことがありました。中学生の子が授業に出ず親と一緒に応援に来ていたことです。小学校の児童の運動会なので、先生方が中学生の対応をする必要はないと思いますが、隣接しているので中学校側に一言連絡を入れて対応してもらう等はできたのではと思いました。
- ・運動会の際、基本的には皆さん譲り合って競技中の学年の保護者の方が前で見られるようにされておりましたが、おそらくたくさんの方が見たいであろうゴール付近前列に家から持ち込んだ椅子にずっと座っておられる方が数名ほどおられ、迷惑だと感じました。学校でも長椅子は準備いただいているので、持ち込みは禁止として頂かないと今後そのような方が増えていくのではと思いました。

- ・設備等環境面での状況整備は、苦慮しているところです。気象状況がますます厳しくなるとともに、何とかしたいと、いろいろと考え対応しているところです。おっしゃる通りで、少しでもよりよい環境となるよう、教育委員会にもお願いをしながら取り組みを進めているところです。
- ・スマホ等ICTの活用については、本校だけの問題でなく、全国的な問題です。子どもたちには、リテラシー教育やSNSの扱い方など学習する機会を設けています。しかし、生活アンケートでもメディアの視聴時間が長いという状況があります。各ご家庭での様子をご確認いただき、使用状況やルールなど再考いただければとありがたいです。
- ・登下校や放課後の様子については、教育活動外として、地域や保護者の方のご協力がなければ進めていくことができません。多くの方に協力いただき本当にありがたいところです。見守り場所など頂いたお声をPTAや学校運営協議会でも共有し相談して進めていきます。
- ・運動会でのご意見がありました。中学校に情報提供はしています。小中一体で子どもを育てるように児童会生徒会の交流や教職員の交流、放課後の過ごし方での情報共有など、平素より桂川中学とはこまめに連携をしていますので、お知りおきください。
- ・子どももそうですが、保護者の方もいろいろな方に見られていること、またそれを、子どもたちも見ていることを認識して、よりよい背中を見せることができる大人、先輩でありたいですね。

## ■地域の方々から

## ●子どもの姿について

- 大変のびのび元気に遊んでいると思います。中間休み、お昼休みでは、グラウンドで元気に遊んでいる姿が見られます。学校全体が良い雰囲気だと思います。
- 放課後、子どもたちがグラウンドでドッジボールなどを楽しんでいるのを見ますが、きちんと子ども同士の約束や秩序があるように見受けられ、良い光景だと感じます。
- 学校で出会ったら必ず挨拶してくれます。下校時の見守りの際、お帰り、ただいま、と応えてくれます。児童館行事の時も同様に挨拶してくれます。全体的に挨拶が増したように感じます。笑顔も増えたと思います。・地域では、帰宅するときに「おかえり」と声をかけると、きちんと挨拶はできています。近所に遊びに来ている子どもたちも、子どもから先に挨拶ができています。
- 毎朝通学路で見守りをしていますが、この一年で特に感じることは、朝の挨拶してくれる小学生が確実に増えていることです。子どもから先に言うってくれることもよくあります。後ろを向いているときに言うってくれる子もいます。一年生もほとんど返してくれます。高学年はほぼ完璧です。毎朝の見守りが気持ちよく楽しいです。
- 体育祭や児童館のイベントでは、競技やブースの活動に大変積極的に参加している様子は地域住民としてとてもうれしく思いました。
- 放課後学び教室で、最近びつくりするのは、低学年から中学年になるにつれ、落ち着きのなかった子等が見えるほど落ち着き、自分の今するべきことをきっちりする等、目覚ましい成長をしている事です。それには毎日一緒におられる教職員の並々ならぬ努力があるのだと痛感しております。
- 運動場や公園等で数人の子どもたちが元気よく遊んでいたり、ゲームをしていたりする姿もよく見かけますが、特に公園では近くの子もだけでなく、遠くに住んでいる子どもたちも多数混じっていて、子どもたちのつながりの広さを感じています。小さなトラブルもありますが、それも大切な経験です。
- 平日の夕方に河原口公園周辺をよく散歩するのですが、川岡東の児童が元気に楽しそうに遊んでいる。野球、サッカー、ドッチボール、たまに女子がバレーボール等をしています。時々声をかけています。
- 楽しく過ごしているように思います。元気に下校してくる子どもを見てみると、半そでの子どももいて寒くないのだろうかと思います。
- ・「まなび教室」での子どもたちの宿題の姿勢について、熱心に宿題をする児童がいる中でも、帰宅前の遊びと考えているのではないかと思う児童も多くいます。宿題をしているかどうか、見回っているの、きちんと取り組んでいる児童の多くは、プリントを差し出してきます。騒がしい児童には注意をしますが、汚い言葉で反論してくる児童がいます。その子たちに関わらないようにしている子も目にします。
- ・物を大事にする気持ちが弱いように思います。児童館の本、おもちゃ、備品、みんなのものを大事にする心が育ってほしいです。破れたり、壊れても気にしたりしない子が多く残念です。

## ●学校の取組について

- 運動会が単純に順位を争うという取り組みでなく、個人を伸ばしつつ協力して結果を得る取り組みが良いと思います。特に学習発表会は皆が主役というスタンスで発表され子どもたちが精いっぱい取り組んでいるのが印象的です。楽器での演奏は普段やんちゃしている子どもが一生懸命にリコーダーやハーモニカを吹いている姿は微笑ましいです。
- 運動会の南中ソーランや組体操をはじめ、学年でする演技がお見事な出来栄でした。特に組体操の練習指導中は特に気を遣われていると思います。秋の発表会の各学年での取り組みも、各所でいろいろ工夫がみられ、素晴らしい出来栄でした。どちらも全員がそろってできた時は素晴らしいです。完成されたものを見せていただいたときは気持ちがいいものですね。指導された先生方も気持ちが良かったと思います。



## 保護者の方からのご意見

京都市立川岡東小学校  
校 長 岡本 雅文  
TEL 392-8820 FAX 392-8827

- 運動会では、大勢での競技には集団の気持ちがあつて気持ちが良いです。また、役割がある子どもたちも一生懸命に動いている姿はたくましく思えました。
- 保護者の学校行事の出席率の高さ等から、学校側の先生方や関係者の方々の努力が良くわかります。
- 学校行事等も教職員の方々に子どももなじんで、教職員の方も子どもに友好的に接して指導されているように思います。誰一人とりのこさない思いが伝わります。
- 子どもたちが積極的に楽しく過ごしていることが学校の活動の様子の表れと思っています。
- 学習発表会を参観させていただきました。それぞれの学年の取組、素晴らしかったです。特になかよし学級の生徒さんには感激しました。みんなはつらつと演技されており、拍手にも力が入りました。こんなに心底エールを送ったのは、久しぶりの気がします。
- 教職員の先生方は、学内での挨拶が必ずありますので、不審者の侵入があつた時には、きちんと対処できると思いました。

### ●保護者の姿について

- 民生児童委員をさせていただいて 10 年になります。この間学校行事に参加させていただき、感じていることは保護者の関心の高さです。立場上いろんな会議に出席しますが、川岡東学区の学校行事への出席の多いことが言われます。私も実感しています。
- 子どものことで困っていることなどハッキリ言える雰囲気を感じます。PTA の方々をはじめ、保護者の方々の子どもたちのために協力的な姿に感心しています。しかし、中には、保護者同士の交流は避けたい方もおられます。
- イベント等でもお父さん、お母さん共に子どもと楽しく参加している様子で受け取っています。
- ・私たちの時代と違い、子育て、お仕事と大変だと思いますが、大勢の方が両立されているのに頭が下がります。
- ・下校時の見守りについて、当番の方だけしか見られないのは少し残念な思いがあります。大勢の保護者が居られる中、週に何度かは無理と思いますが、年間では数回出られることがあると思います。当番だけに限らない、進んで意識できるような状況が生まれてくることを望みます。
- ・毎日保護者の目の届くところで宿題をさせましょう。それができなかつたら必ずチェックをして、わからないところをそのままにしておかないようにしましょう。

### ●その他

- 小学校・児童館・学区社会福祉協議会が自治連合会と連携が取れていて、地域福祉のネットワークができています。民生児童委員会もそのネットワークの構成団体として、活動していることに誇りを感じています。
- 教職員の方々、放課後の子どもたちの様子もしっかり見守って下さり、学童クラブとも情報共有を積極的にしてくださっていること、感謝しています。
- 横断中の子どもたちへ気遣いするドライバーがほとんどですので、良い傾向と感じます。子どもたちが横断歩道をふざけながら歩いていても、クラクションを鳴らすことがほとんどなくなっています。ゆとりのある生活になってきたのだと思います。
- ・少し気になっている点は、算数のレベルです。中学年でも計算が苦手な指を使っている子どももいます。低学年の間にしっかり足し算引き算を学んでいればと思います。

- ・漢字の書き順もとても気になります。明らかに変な書き方をしている子どもが多いです。最後に書く部位を最初に書いて、何を書いているのかと考えてしまうことも多々あります。家庭での方針もあるので注意しますが、とても気にはなります。
- ・放課後、休日に子どもたちが土砂置場に入って遊んでいます。パワーショベルも置いています。また、朝や夕方には大型トラックが出入りします。危険なので遊ばないように注意してください。近くに牛ヶ瀬公園もありますので、公園で遊ぶように促してください。
- ・注意指導されていると思いますが、下津村交差点の東側は下校のタイミングに通過しますが、車道に大変近いのでいつも気にはなっています。(スペースがないので仕方ないですが…)
- ・中信の前の横断歩道で見守り隊を週に一度だけ担当していますが、下校時には、多くの子どもたちが集団で歩いてくることは周知のほうですので、歩道を自転車通行する大人の心遣いが必要と感ずることがあります。

### ～学校運営協議会の理事の方々より～

- ・高学年になると「自分の良いところを言える」の実現度が下がる傾向にある。どういうことが言えればいいのか？なかなか難しいところがあるのではないかと。
- 自尊心という視点で考えている項目です。自分の得意なことや頑張っていることが言えるようになればと考えています。
- ・止まって、名まえを呼んで挨拶してくれる子がいて嬉しい気持ちになる。
- ・YouTube や TikTok などの影響が大きく、危険な遊びを見て、まねして遊んでいる子がいて、保護者から心配の声が上がっている。子どもの傾向や状況にはアンテナを張ることと、情報機器の活用の仕方をよく考えないといけない。
- ・夏は非常に暑い。特に、3階や4階教室はたいへん厳しく、子どもだけでなく先生方が心配。断熱工事申請などを行っているのか。屋根に断熱材を敷くなど対策を考えないといけない。
- 業者にエアコン清掃を定期的に依頼しているが、機器が古く、委員会は調査してくいるが、修繕や取替の計画がまだない。
- ・染髪については、ずいぶん減ってきたが、まだ少し、派手な色の子どもはいる。保護者の意識の問題ではないかと。

たくさんのお言葉、ありがとうございます。チームカワヒガで今後もよろしくお願いします。

地域の方々から、たいへんうれしいお言葉をたくさんいただきました。日々、学校が取り組んでいくことや教職員が意識してがんばっていることをしっかりと見ていただいているようで、たいへんありがとうございます。しかし、まだまだ地域では迷惑をおかけすることはありますし、暴言なども発しています。その状況も含めて温かく見守っていただいていることが、子どもたちがぎすぎすしないで、柔らかに生活できることにつながっているところもあると思います。保護者の方々にもお言葉をいただいています。ライフサイクルが変わり、様々な状況の中で、なかなかゆとりをもって生活することが難しい中でも、学校の取組に協力いただいたり、行事などにはたくさん参加いただき、子どもの様子を確認いただいたり、時には、子どものがんばりにわが子関わらず拍手や声かえをしていただいたり、そして、教職員にあたたかい勇気の出るコメントいただいたりと本当にうれしく思います。ありがとうございます。中には厳しいお言葉もいただいていますので、今年度の取組をしっかりと振り返り、教職員で現状を共通理解して、これからの学校運営に、教職員一同、チームカワヒガでしっかりと進めていきたいと思ひますので、今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

校 長 岡本 雅文